

たまで箱

～たまな市議会だより～

令和8年
6月定例会
令和8年8月1日発行
NO.83



◀表紙の施設
たまっ子らんど インスタグラムへ

- もくじ
- P.2～3 6月定例会報告
 - P.4～5 委員会審査報告
 - P.6～10 ここが聞きたい! 一般質問(15名)
 - P.11 議員勉強会報告
 - P.12 9月定例会スケジュール

令和8年 第2回定例会(6月)

6月4日 ▶ 6月26日 23日間

6月定例会では、令和8年度一般会計補正予算、条例の一部改正、人事、専決処分事項の承認など21議案を決定した。また、請願 1 件は不採択とし閉会した。

決定した主な事業

① 物価高騰対策支援事業 2,974万円

(農業者への機械・設備等導入に対する支援及び担い手のハウス整備に対する支援)

② 保育所等給食賄費等支援事業 278万円

(副食費の公定価格改定に伴う私立保育園等への支援)

③ 被災宅地復旧支援事業 1,266万円

(令和7年8月豪雨で被災した宅地の復旧工事に対する支援)

④ 水防事業 3億4,973万円

(岩崎排水機場周辺一帯の冠水被害対策に伴う排水ポンプユニットの導入)

⑤ 体育施設管理運営事業 4,676万円

(蛇ヶ谷テニスコート休憩所の追加工事及び天水体育館の空調設備工事)

⑥ 土地改良事業 2億3,171万円

(大開第2排水機場エンジン及び大豊排水機場主ポンプ緊急補修工事等)

⑦ 小・中学校図書整備事業 100万円

(故 前田正治 前議員からの寄附申出による学校図書購入)



議案の審議結果

■全会一致で決定した議案

※氏名の敬称略

議案番号	件 名	議案番号	件 名
議第42号	専決処分事項の承認について 令和7年度玉名市一般会計補正予算(第12号)	議第50号	玉名市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第43号	専決処分事項の承認について 玉名市税条例の一部を改正する条例の制定について	議第51号	第3次玉名市総合計画基本構想の策定について
議第44号	専決処分事項の承認について 玉名市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	議第52号	公立大学法人九州看護福祉大学定款の制定について
議第45号	専決処分事項の承認について 玉名市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	議第53号	負担付きの寄附の受納について
議第46号	専決処分事項の承認について 玉名市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	議第54号	財産の出資について
議第47号	令和8年度玉名市一般会計補正予算(第2号)	議第55号	工事請負契約の変更について
議第48号	令和8年度玉名市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	議第56号	人権擁護委員候補者の推薦について (再任 久田 史枝)
議第49号	玉名市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	議第57号	人権擁護委員候補者の推薦について (再任 芦村 伸也)
		議第58号	人権擁護委員候補者の推薦について (新任 西村 則義)
		議第59号	人権擁護委員候補者の推薦について (新任 橋本 公紀)
		議第60号	人権擁護委員候補者の推薦について (再任 笠 哲郎)
		議第61号	固定資産評価員の選任について (新任 中野 光昭)
		議第62号	令和8年度玉名市一般会計補正予算(第3号)

■賛否の分かれた請願

○・・・賛成 ×・・・反対

請 願		吉田 憲司（創政未来）	吉田 眞樹子（創政未来）	北本 将幸（創政未来）	多田 隈啓二（創政未来）	右田 憲吾（市民）	大野 豊重（市民）	一瀬 重隆（市民）	梅田 政次郎（自友）	山下 桂造（自友）	松本 憲二（自友）	江田 剛（新生）	田中 美鈴（新生）	坂本 公（新生）	西川 裕文（新生）	坂西 麻由（第二新生）	西村 太（第二新生）	立川 信之（第二新生）	緒方亜利沙（第三新生）	中村 慎吾（第三新生）	田浦 敬晴（第三新生）	徳村 登志郎（無党派（公明党））	議決結果
請第2号	非核三原則の法制化を求める意見書の提出に関する請願	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	不採択 （賛6、反14）

※創政未来…創政未来/ 市民…市民クラブ / 自友…自友クラブ / 新生…新生クラブ / 第二新生…第二新生クラブ / 第三新生…第三新生クラブ / 無党派…会派に属さない議員
※各会派の並びは届出順とし、会派内の並び順は議席番号順とする

請願の審議結果

番 号	件 名	所属委員会	委員会結果	本会議結果
請第2号	非核三原則の法制化を求める意見書の提出に関する請願	総務委員会	不採択 (賛成少数)	不採択 (賛成少数)

討論

私はこう考える!!

請第2号 非核三原則の法制化を求める意見書の提出に関する請願

原案反対

坂西 麻由

核兵器のない世界を願う立場である。一方、非核三原則の法制化は慎重に検討すべきと考える。平和は法律だけでなく、一人ひとりが命を大切にすることを育み、この国の平和と安全を自分事として考えることが重要であるため、本請願には反対する。

原案反対

徳村 登志郎

非核三原則堅持の思いは本請願者と同じであるが、理念や国是を法律で固定化すると、将来の安全保障政策や国民的議論の柔軟性を損なう恐れがある。法制化は慎重に検討すべきとの立場から、不採択を主張する。

原案賛成

大野 豊重

玉名市は40年前に非核宣言を行い、子どもたちは非核三原則を平和教育で学んでいる。平和を願いながら核兵器依存を容認する姿勢ではなく、日本は「核不拡散の世界的リーダー」としての姿勢を見せ、法制化をすべき。

原案賛成

田中 美鈴

軍拡や増税が進む今、市民の暮らしを守るため非核三原則の法制化が必要であり、唯一の被爆国として軍拡ではなく平和外交のリーダーシップを発揮すべきである。平和な未来を繋ぐため、本意見書の採択を強く求める。

岩崎排水機場の仮設ポンプの効果は

質問 岩崎排水機場に導入される仮設ポンプの有効性や維持管理については。

答え 緊急時の浸水対策として仮設ポンプ3台を導入予定。抜本改修までの応急対策として活用し、適切な維持管理を行い、将来は他の排水機場への転用も検討する。

B & G助成金の条件や内容は何か

質問 磯の里改修に伴うB & G財団からの助成金と活用計画、その関係性は。

答え 磯の里改修にB & G財団から8,000万円の助成を受ける。条件として指導員2名を養成し常勤させ、カヌーなど海洋レジャーを活用した観光振興を進め、施設の維持管理費は市が負担する。

地域活性化起業人制度の増額とは

質問 玉名版DMOについて、JALとの連携による観光振興と地域活性化の効果と展望は何か。

答え JALの人材を活用し接客研修や観光PRを実施。観光の質向上を進める一方、接遇による経済効果を図るのは難しいが、基礎的な接遇力の土台は整いつつある。

保育所給食費支援の現状と継続方針

質問 対象施設数や補助内容、財源の内訳、今後の継続方針は。

答え 私立保育所等21施設が対象。副食費月4,500円を基準に差額を補助し、財源は交付金を活用。国県補助はなく、保護者負担軽減のため継続を目指す。毎年度財政協議を行う。

特定親族控除導入への対応

質問 特定親族特別控除の概要と制度改正の周知方法はどのように行うのか。

答え 19歳から23歳未満の子等の所得に応じた特定親族特別控除創設に伴い、児童扶養手当等の所得等を審査するシステム改修を実施。現況届通知や広報、HP等で周知を行う。

寄附による学校図書充実事業

質問 寄附の内容や図書購入費への活用方法、周知の考え方は。

答え 故 前田正治 前議員の遺志による100万円の寄附を市内全小中学校の図書購入費に充当。学校ごとに配分し、寄贈者名の掲示やコーナー設置など感謝を伝える取組を検討する。

総務委員会 6/22(月)

第3次玉名市総合計画基本構想の策定について

質問 第3次玉名市総合計画に市民意見や財政方針、DX推進による情報格差対策がどう反映されるかを問う。

答え 市民意見や現行計画の検証結果を踏まえ基本構想を策定し、財政運営は前期基本計画や中期財政計画等で具体化する。情報弱者にも配慮した情報発信を行う。また、人口目標の見直しもを行い、市長任期に合わせた計画運営を進めていく。

漁港しゅんせつ工事変更の妥当性は

質問 漁港のしゅんせつ工事の契約変更について、土量増加や処分場変更の理由、費用削減効果と今後の処分場運用について問う。

答え 労務単価の変更及び当初より計画していた処分場の受入量減少に対応し、御所浦処分場を併用したことで費用が抑制され、しゅんせつ土量を増やすことができた。今後は御所浦処分場を主要な処分場として活用する方針である。

委員間討議

紙媒体も必要とし、情報提供の公平性を求める。

討議①

総合計画は市民の暮らしを守るべきと賛同。

討議③

DX時代でも、誰一人取り残さない情報提供について討議を提案したい。

提案者

DXで高齢者が取り残されない配慮が必要。

討議②

議会も「誰一人取り残さない」視点で行政をチェック。

討議④

※委員間討議ってなに？ 委員同士がより良い結論を導くために意見を交わす話し合いです。

建設経済委員会 6/23(火)

火入れに関する条例の周知体制について

質問 令和8年1月からの運用に対し、条例改正の時期が遅れた理由や、市民への周知方法、情報発信や防災安全課との連携、火入許可の実績、文言変更の目的は何か。

答え 条例改正は他市の動向を踏まえたため今回の提案となり、市民への周知については市ホームページで行い、市公式LINEでの周知は防災安全課との連携事項である。林野火災注意報及び警報は消防本部が発令する。火入許可は過去5年間で畑の地ごしらえ目的の1件のみであり、文言は分かりやすさを重視して改めた。



大学公立化調査特別委員会 6/22(月)

公立大学法人九州看護福祉大学の定款制定

質問 理事会が最上位にあり、その下に経営審議会が配置され、そこで予算や目標が策定されるという理解でよいのか。

答え 最上位は理事会だが、すべての審議は困難なため、経営と教育をそれぞれの専門の審議会に審議し、それを理事会に諮る形となる。

財産の出資について

質問 大学施設の老朽化に伴う大規模改修費用は、今後市の負担は一切なく、独立行政法人への交付金積立金などから賄われるのか。

答え 大規模改修費は、市が普通交付税の中から積立てて支出するため、交付税の範囲を超えた市の特別な負担はない。

委員間討議

公費を監視するため、大学からの直接説明が必要。

討議①

大学運営の透明性向上と情報公開を求める。

討議②

直接説明には賛成だが、議会の過度な介入は避けるべき。

討議③

適切な予算判断には、詳しい説明と質疑が必要。

討議④

公立大学への公費支出を踏まえ、大学から直接説明を受け、議会が質疑できる場の設置について討議を提案したい。

提案者①

公立大学法人化の開始前と解散時を見据え、議会の関与のあり方について討議を提案したい。

提案者②

議会と大学が定期的に意見交換する場が必要。

討議①

議会と大学の関わり方は、特別委員会で検討すべき。

討議②

国保税改正と子育て支援金

質問 国保税限度額引上げによる影響額や財政効果、子ども・子育て支援金の負担額、使途及び市民への周知について問う。

答え 限度額引上げで339世帯が年1万円増となり339万円の増収と見込まれる。子育て支援金は県納付金約4,530万円増の財源となり、夫婦2人児童2人の世帯で年約6,000円負担増。児童手当等に活用し広報で周知する。

介護保険料特例減免の改正

質問 介護保険料特例減免の対象者数や職権減免の理由、令和9年度以降の見通しと税制改正の影響を問う。

答え 特例減免は税制改正による非課税枠拡大に対応し約100名が対象。職権減免で漏れなく実施する。措置は令和8年度限りで、次期保険料改定時に税制との整合を図る。



QRコードで録画映像を
ご覧いただけます

一般質問 《ここが聞きたい》

大野 豊重 議員
(市民クラブ)

質問 岱明ふれあい健康センター民間移譲に対する市の考えは

岱明ふれあい健康センターの民間移譲について、将来の財政負担軽減や公共施設マネジメントの必要性を踏まえつつ、市民福祉や地域コミュニティ機能の維持、代替策の検討、住民理解と合意形成の在り方について問う。

企画経営部長 市民福祉の維持と持続可能な行財政運営の両立のため重要であると認識している

岱明ふれあい健康センターの民間移譲を進める目的と必要性は、本市の持続可能な行財政運営の実現と公共施設の最適化を図ることにあり、行政サービスを継続していくために必要な財政面や市民ニーズなどを踏まえて実行することが重要と考えてい



▲大広間で親子ふれあいの優勝祝賀会（岱明町少年野球クラブ）

る。市民の不安や疑問の声は、今後の公共施設運営を考える上で貴重な意見として真摯に受け止めており、今後も丁寧な説明と対話を重ねていく。

その他の質問

- 熊本県新野球場（仮称）の誘致
- 市民活動総合補償制度の運用と共助活動の支援



松本 憲一 議員
(自友クラブ)

質問 玉名市職員に対するハラスメント（カスタマーハラスメント）の対策方法は

県内のある市で議員による不当要求により贈収賄事件が起こってしまった。このような事件は本市であってはならない。議員、業者、市民等からの不当な要請要求に対して職員を守る観点からも対応対策を講じるべきと考えるが市の見解を問う。

総務部長 カスタマーハラスメントの定義や対応に関するマニュアルを作成し周知する

令和8年10月に改正労働施策総合推進法が施行されカスタマーハラスメント防止のための雇用管理上の措置が義務付けられる。カスタマーハラスメントには毅然とした態度で対応し職員を保護すること、カスタマーハラスメントの内容及びその対処の



内容、職員の相談窓口等について記載した対応マニュアルを作成し、周知・啓発を行う。併せて研修等を通じ必要な取組を継続的に進めていく。

その他の質問

- 統合した小学校の児童数維持への市の取組と考える



田中 美鈴 議員
(新生クラブ)

質問 岱明ふれあい健康センターの温泉廃止と民間移譲、今後の利活用の方向性を問う

4・5月に行われた住民説明会では、温泉廃止や民間移譲の方針に周知不足もあり利用者等からは不信感が噴出。利用者アンケート結果や説明会参加者から出された意見と、それに対する市の認識は。また市民の意見を踏まえた今後の利活用の方向性は。

企画経営部長 住民説明会でいただいた意見は大変貴重なものとして真摯に受け止めている

住民説明会でいただいた意見は、公共施設運営を考える上で大変貴重なものとして真摯に受け止めており、今後も、施設利用者をはじめ、市民への丁寧な説明と対話を重ねていく。今後の利活用については、近隣自治体にも通信制高校の設置の動きが



▲民間移譲が検討される中、存続の声も上がる岱明ふれあい健康センター

あることを確認していることから、通信制高校誘致の可能性を見極めるとともに、これに限らず、今後も引き続き民間移譲に向けた検討を進めていく。

その他の質問

- 岱明防災コミュニティセンター利用状況と利用基準
- 交通弱者に対する乗合タクシーの更なる利便性向上



田浦 敏晴 議員
(第三新生クラブ)

質問 築山小学校の施設整備には特有の課題もあるが、今後施設整備をどう進めるのか

築山小学校の施設整備を進めるためには、特有の課題や検討事項などを踏まえ、基本構想を明確にした上で保護者や地域住民に説明し理解していただく必要がある。市としては、築山小学校整備基本構想の策定とその実現をどのように進めていくのか。

教育部長 計画案の決定後、関係者への説明を行い、施設整備に向け早期事業化を図る

築山小学校が抱える複合的な課題を解決し、30年後を見据えたランドデザインを策定することを目的として、令和7年度に築山小学校整備基本構想業務委託を実施した。地理的な制約を踏まえ、財源確保の問題や妥当性等、多角的な視点から検討を進



▲こんな築山小学校になったらいいなあ

め、施設配置案を複数案作成した。今後は、最良な計画案を速やかに決定し、市議会、小学校保護者、地域の皆様に対し、丁寧な説明を行い施設整備に向け一日も早い事業化を図る。

その他の質問

- 不登校の状況と適応指導教室の活用状況



山下 桂造 議員
(自友クラブ)

質問 都市計画税の廃止に向けた進捗状況は

旧玉名市で下水道設置のため徴収されている都市計画税について、令和7年3月に2年以内の廃止に向けた前向きな答弁があり、市民も早期の負担軽減を期待している。改めて廃止条例案は、いつの定例会に上程するのか、具体的なスケジュールを問う。

市民生活部長 令和10年度からの都市計画税の廃止に向け事務を進めている

都市計画税については、令和9年3月議会に都市計画税廃止条例を上程し、1年間の周知期間を経て、令和10年4月1日施行の予定で進めている。



▲今回の質問のイメージ図

その他の質問

- 都市公園等の樹木の伐採
- 下水道の異臭対策
- 来訪者に選ばれる広域観光サインと誘客看板の設置



吉田 真樹子 議員
(創政未来)

質問 クラリンド市への中学生公式訪問団は、6全中学校から代表6人にするべきでは

今年で30年目を迎えたアメリカ・アイオワ州クラリンド市との姉妹都市事業。市内6校中3校3人が中学生公式訪問団として選ばれているが、教育機会の公平性や学びに差がつく課題と考える。6全中学校から6人の派遣が必須では。

企画経営部長 クラリンド市への中学生派遣は、現状を踏まえ公平な機会確保を検討していく

今回のクラリンド市への中学生派遣は3名での実施となる。これは、派遣先のホームステイ受け入れ家庭の確保困難、円安や物価高騰による渡航費用の増加、多数派遣時の安全管理強化に伴う引率者増員と追加経費発生を総合的に勘案した結果である。



▲歓迎してくれたクラリンドの方々と市役所前で（2018年の訪問）

本市はグローバル人材育成と国際交流推進を重要施策と捉え、今後も社会情勢を注視し、クラリンド市側と受け入れ体制を協議しながら、中学生の増員を継続的に検討していく。

その他の質問

- 子育て支援について



質問

プレミアム付商品券事業の効果と分析、その結果を今後の事業に生かす考えは

プレミアム付商品券事業について、前回実施時の利用状況や経済効果をどのように分析したのか。また、今回の事業について利用実績や経済効果などをどのような指標で検証し、今後の制度設計へ活かしていくかを問う。

産業
経済部
首席
審議員

プレミアム付商品券事業、効果検証でさらなる商工振興に繋げる

前回の商品券事業は、市内に約1.9億円流通し、342店舗で利用され、1店舗あたり約56万円の利用があった。しかし一部大型店舗での高額利用が平均利用金額を押し上げた。今回は、さらに利用状況や業種別、市内消費への波及、事業者売上の分析を行う



◀今年度実施されているプレミアム付商品券のチラシ

ことで、次の制度設計に反映していきたい。今後、商工会議所や商工会等と連携し、市内の商工振興につながる調査手法の検討を重ねていきたい。



質問

オンライン英会話で個別最適な学びと不登校支援の充実を図れないか

オンラインマンツーマン英会話を活用し、英語を話す機会の拡充を提案する。既に整備されている一人一台端末を活用した個別最適な学びや、不登校児童生徒への可能性、効果を検証するためにも、モデル事業の実施をする考えはないのか問う。

教育
部長

英語教育の充実に向けて最適な方法を見定めたい

オンラインマンツーマン英会話による英語を話す機会の拡充は、教育的意義が大きいと認識している。一人ひとりの学習状況に応じて内容を調整できれば有効な手段となり得ると考えるが、不登校生徒を含む多様な状況を考慮すると現時点での一律実施



▲一人ひとりに合わせたオンラインマンツーマン英会話の様子(東大和市)

は困難である。今後、オンライン英会話を含む様々な選択肢から本市にとっての最適な方法を見定め、効果を検証し、英語教育の充実に努める。

その他の質問

- 市営住宅を地域再生の拠点として活用する考え
- 受動喫煙防止対策と改正健康増進法の周知
- 高齢者補聴器購入費助成制度の導入



質問

九州看護福祉大学の公立化にあたり持続可能な学校経営の見通しは

昨年の日本の出生数は約67万人で過去最少となった。本市も小学校を統廃合し、高校も無償化の影響により存続の危機を迎えている。少子化が進む中、安定した学校経営がどれくらい続くかと想定するか。「損益分岐点」はどのような状況を想定しているか。

企画
経営
部長

公立化後も学生確保の取組を進め、定員を充足させることで持続可能な運営を行う

公立大学法人化検討委員会で議論された収支シミュレーションにおいて、入学定員充足率や物価上昇率など一定の条件を設定した上で6つのパターンを試算したが、それにより収容定員を充足させることが安定した大学運営に繋がるという結果が示され



▲九州看護福祉大学

たため、公立化後についても、継続して学生確保の取組を進めることが重要であると認識している。

その他の質問

- 第4次玉名市男女共同参画計画
- プレミアム付商品券について



質問

安心して暮らせる持続可能な公共交通体制の整備を

現在、市街地循環バスが減便となっているが、その要因と今後の対策を問う。また、今後も利用者増への取組も含めてより良い公共交通体制の整備に取り組んで行く必要があると思うが見解を問う。

企画経営
部長・
市長

市民が安心して暮らせるために持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指す

市街地循環バス減便は乗務員不足が要因で、9月1日には通常運行が再開される予定。公共交通は人口減少や乗務員不足、燃料費高騰等で厳しい状況にある。今後は持続可能な公共交通網構築に向け、在来線玉名駅中心の交通結節機能強化、多様な交通手段の組み合わせ、事業者・近隣自治体と



▲市内を循環する玉名市街地循環バス

の連携強化、利用実態に応じた見直しやデジタル技術活用等を進め、市民の移動手段を確保していく。



その他の質問

- 道路交通法改正への取組

質問

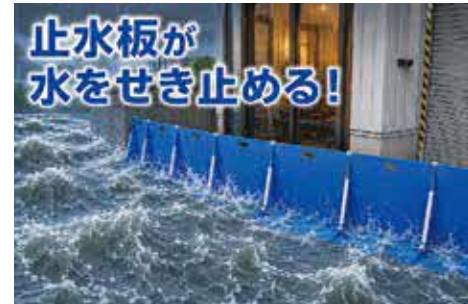
令和7年8月豪雨災害後の対策と、止水板設置補助の導入検討は

令和7年8月豪雨災害から約10か月間に市が進めてきた防災・減災対策について問う。また、浸水被害を軽減する有効な手段である止水板設置に対する補助制度をどのように考えているのか、市の見解を問う。

総務
部長

止水板設置補助制度の導入については、他市の事例等を調査研究し検討する

市が管理する準用河川について、土砂しゅんせつ・竹木伐採を実施した。農業基盤施設の災害復旧事業では、冠水被害が顕著であった受免地区、三崎地区の排水対策など災害復旧を既に終えている。公共下水道浸水対策では、玉名処理区において、雨水管理方針を策定予定である。また、止水



▲止水板のイメージ図

板設置補助については、他市事例等を調査研究し、費用対効果、公平性、持続可能性など課題を洗い出し実現可能な制度の在り方を検討する。



その他の質問

- 空き家対策

質問

ゴミ減量化や火災予防の観点から、剪定枝粉碎機の貸出し制度を導入できないか

剪定枝等を粉碎・チップ化し、可燃ゴミ減量や資源循環、野焼き抑制・火災予防につなげるため、家庭向け小型剪定枝粉碎機や地域活動・農業用にも活用できるチップの貸出し制度導入についてどのように考えているのか問う。

市民生活
部長・
産業経済
部長

一般家庭を対象とした剪定枝粉碎機貸出し制度導入の検討を進めていく

チップ化することで、可燃ごみの減量化やCO₂排出量の削減に効果があると認識している。また、野外焼却を抑制し火災防止の観点からも非常に有効な手法となることから、一般家庭を対象に貸出し制度導入の検討を前向きに進めていく。農業用につ



▲剪定枝粉碎機

いては大型であるため、保管場所等の課題から現時点で貸出しは考えておらず、市認定農業者連絡協議会との意見交換で要望があれば、市補助事業への追加を検討する。



その他の質問

- 災害時に自力避難が難しい方への支援
- たまなファミリーサポートセンター事業の持続可能な運営

質問 災害時の道路情報共有とマイタイムライン作成への伴走サポート体制は

国、県、市の間における、水位情報や道路通行止め情報のタイムラグのないリアルタイムな共有・発信体制の構築状況を問う。あわせて、高齢者等へのマイタイムライン作成に向けた、各行政区等での具体的な伴走支援体制について見解を求める。

建設部長・総務部長 市民の皆様の避難行動支援や実用性の高い情報共有体制の確立を目指す

災害時において、情報の一元化と市民への迅速提供を目的としたシステムである「スマート防災ポータル」の実証実験中である。国・県・市のリスク情報を分かりやすく表示し、避難行動支援や実効性の高い情報共有体制の確立を目指す。また、マイタイム



◀いま一度、防災を考える
(広報たまな6月号表紙)

ライン作成については、ユーチューブ動画を作成し公開しているほか、防災訓練の際に作成説明会の実施、地域に出向いた防災講話など、様々な形でサポートを行っている。



質問 桃田運動公園における今後の遊具整備方針は

年齢別ゾーン分けの要望が多数寄せられている。安全で長く滞在できる環境の整備が重要である。保護者が安心できる年齢に応じたゾーニングの視点を今後の公園設計にどう取り入れるか。桃田運動公園の今後の遊具の整備方針について市の見解を問う。

建設部長 発達段階に合わせた遊具で遊べるように、配置を考慮して設置を行っていく

今年度、児童広場に残る鉄棒・平行棒などの機能を集約化した複合遊具を芝生広場に新たに設置する予定である。子どもたちが発達段階に応じた遊びを安全に楽しめる環境を整えることが重要と認識しており、今回の遊具設置にあわせて、おおむね3歳



▲桃田運動公園で遊ぶ子どもたちの様子

から6歳向けと6歳から12歳向けの遊具を、それぞれの発達段階に合わせた遊具で遊べるよう、既存遊具を含めて配置を考慮し、設置を行っていく。



その他の質問

- 玉陵小学校のスクールバス運行と安全な通学環境整備

質問 高瀬裏川花しょうぶまつりのイベント効果と音楽活用で観光振興につなげる取組は

グレン・ミラーの代表曲「インザムード」を会場のBGMとして活用することで来場者に本市とクラリダ市との交流の歴史を知るきっかけとなり、まつりの魅力向上につながる。音楽の都玉名を発信し観光振興につなげる取組について市の見解は。

産業経済部 首席審議員 音楽活用で本市とクラリダ市との交流の歴史を知っていただく良い機会と考え

本市は「音楽の都づくり」に取り組んでいる。クラリダ市と姉妹都市を締結して今年で30周年を迎える年であり、会場でグレン・ミラーの代表曲をBGMとして流すことは、本市とクラリダ市との交流の歴史を知っていただく良い機会となり、さ



▲花しょうぶまつりの風景

らには高瀬裏川に咲き誇る花しょうぶと音楽の調べが響き合うことで、緑地公園ならではの美しいハーモニーを創り出すなど、花しょうぶまつりの魅力向上に繋がるものと考え。



その他の質問

- 公衆トイレの整備

勉強はつづくよどこまでも.....

大学公立化に関わる勉強会

4月30日(木)

講師：国立保健医療科学院 名誉院長 福島 靖正 氏

人口減少と超高齢化が進む中、医療・介護需要は大きく変化し、在宅医療や高齢者救急、地域全体で支える仕組みづくりの重要性について学んだ。玉名市を含む有明医療圏内でも、病院の役割分担や地域医療を支える人材確保、介護との連携が大きな課題であると改めて感じた。最期まで安心して暮らせる玉名市を目指し、医療・介護・地域のつながりを大切にしなが課題に取り組み、大学公立化に向けての調査にも活かしていきたい。

(坂西 麻由)



国民健康保険事業に関する議員勉強会を開催 6月23日(火)

講師：玉名市役所保険年金課

玉名市国民健康保険事業の現状と課題について学んだ。保険年金課によると、国保加入世帯数や被保険者数は年々減少する一方で、高齢化の進行により医療費負担は増加傾向にある。また、令和8年度の国保特別会計予算は約85億円で、一般会計から約2億5,700万円の繰入れが行われている。持続可能な制度運営のためには、健康づくりによる医療費の抑制や収納率向上が重要であることを確認。今後も市民の皆様が安心して医療を受けられるよう、国保運営の課題解決に市議会として取り組んでいく。

(徳村登志郎)



議会の情報もいち早くキャッチ!

市議会では、玉名市公式 LINE で市議会の日程や一般質問の予定項目などを通知しています。

市議会の情報をいち早くキャッチできますので、玉名市公式 LINE の登録がまだの方は、この機会にぜひ「友だち追加」をお願いします!

玉名市公式 LINE登録はコチラ



スマートフォンへの通知は、こんな感じです

市議会を傍聴しませんか

議会は原則として公開しており、どなたでも傍聴することができます。

次回の定例会(9月)のスケジュールは次のページに載せています。皆様の傍聴をお待ちしております。



「たまたて箱」の表紙が リニューアル

これまで7年間、玉名女子高校アニメデザインコースの生徒さんが玉名の四季折々を表現した作品を掲載させていただきました。アニメの世界の山田の藤、しょうぶまつり、花火大会等々。いつまでも心に残ると思います。本当に感謝申し上げます。さて、今回からは玉名市の「宝」子ども達をフォーカス。市内の子育て支援センターでのいろいろな表情を掲載します。お楽しみに。

委員長 吉田 憲司



議会の主な動き

4月	7日	議会広報広聴特別委員会
	9・10日	熊本県市議会議長会
	14日	議会広報広聴特別委員会
	16日	熊本地震10年追悼式
	23・24日	九州市議会議長会
	30日	大学公立化に関する議員勉強会
5月	15日	議会改革推進特別委員会
	26日	全国温泉所在都市議会議長協議会総会
	27日	全国市議会議長会定期総会
	28日	議会運営委員会
	29日	有明広域行政事務組合臨時議会
6月	4日	6月定例会開会・議会改革推進特別委員会
	15～17日	一般質問
	19日	予算決算委員会
	22日	総務委員会・大学公立化調査特別委員会
	23日	建設経済委員会・文教厚生委員会
	26日	6月定例会閉会
	29日	玉名市玉東町病院設立組合議会全員協議会
	30～7/2日	有明広域行政事務組合議会行政視察

【議会広報広聴特別委員会】

(委員長) 吉田 憲司 (副委員長) 坂西 麻由
(委員) 緒方亜利沙 梅田政次郎 西村 太
大野 豊重 一瀬 重隆 徳村登志郎

9月定例会スケジュール

開始時刻 10:00

8月20日(木)	議会運営委員会
8月27日(木)	開会
9月7日(月)	一般質問
9月8日(火)	一般質問
9月9日(水)	一般質問
9月10日(木)	一般質問
9月11日(金)	予算決算委員会
9月14日(月)	予算決算委員会
9月15日(火)	予算決算委員会
9月16日(水)	10:00 総務委員会 13:00 大学公立化調査特別委員会
9月17日(木)	10:00 建設経済委員会 13:00 文教厚生委員会
9月25日(金)	閉会

※都合により変更になることがあります。

編集後記

議員として3度目の定例会を迎え、活動を通じて玉名市を見る視点が一段と広がり、区長様はじめ地域の皆様の支えで日々の生活が成り立つことを実感する半年間となりました。昨今の不安定な世界情勢による物価高騰や物資不足などが、私たちの生活に影響を及ぼす中、トマト、いちご、みかん、じゃがいも、お米、のりなど、玉名市の特産物が世界へ流通し、食で社会を支える玉名市の魅力と可能性を感じます。不安なニュースが続きますが、玉名の豊かな恵みが皆様の心と体を支え、熱中症など厳しい暑さを乗り切る活力となるよう願っております。

委員 緒方 亜利沙

☆ホームページのアクセスは、検索画面で **玉名市議会** **検索** を入力してクリック!